

業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

中川 千恵美 (なかがわ ちえみ) [社会福祉学科 教授]

2023年

9. 学会発表

- ・中川千恵美, 中島尚美, 小山顕. 「保護者支援プログラムの現状について－文献研究を通して－」. 日本子ども虐待防止学会第29回学術集会. 滋賀大会. 2023年11月

10. 講義・講演

- ・中川千恵美. 摂津市出産育児課グループSV研修. 摂津市役所 コミュニティプラザ. 2023年1月～12月計9回
- ・中川千恵美. 「傾聴の意義と方法1, 2」. ホームスタートビジター養成講座」. NPO法人 ほんわかハート. 2023年5月
- ・中川千恵美. 「子ども・子育て家庭の現状」「子ども家庭福祉」. 令和5年度 神戸市子育て支援員研修 講師. 株式会社 ポピンズプロフェッショナル オンライン2回含む. 2023年7月～10月計7回
- ・中川千恵美. 「こども家庭センターと関係課の連携について」. 近江八幡市 家庭児童相談室. 2023年10月
- ・中川千恵美. 「相談支援つながり会議研修－こども家庭センター設置に関する庁内関係課研修会との合同研修－」. 近江八幡市福祉政策課. 2023年10月
- ・中川千恵美. 「利用者支援専門員（基本型）とは...支援員に求められる基本姿勢と倫理」. おうみはちまん親子応援団ぱびぷべぼ. 2023年11月
- ・中川千恵美. 「子どもを大切にすまちづくり～子どもと地域を生かす地域支援」. 摂津市生涯学習大学. 開催地加筆. 2023年12月

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
中川千恵美	日本学術振興協会 科学研究費 助成事業 基盤研究費 C	児童虐待予防を目指す家庭養育推進ペアレンティングプログラム構築への開発的研究	2022年－ 2024年度	416万円	中島尚美 (大阪公立大学) 小山顕 (関西学院聖和短期大学)
概 要 (薫英研究費・有)					
<p>本研究は3年間の研究期間を通して、児童虐待発生产生予防を着実に進めるために、多職種連携を踏まえ、地域社会に多様なニーズを抱えた子どもと家庭が生活していることを視野に入れ、家庭養育を推進するペアレンティングプログラム開発または、適切な情報共有ができるデータベース作成を目指す。</p> <p>本年度は、保護者支援プログラムの現状に関して、先行研究を整理し、学会で報告を行った。保護者支援ということだが、該当した先行研究からは、保護者は母親となり、対象となる課題は発達特性ある子どもへのペアレントプログラムが大半であった。</p>					

14. その他

- ・東大阪市児童福祉専門分科会 (会長)
- ・東大阪市子ども子育て会議委員 (副会長)
- ・東大阪市社会的養育等課題検討部会 (会長)
- ・東大阪市総合戦略審議会

- ・近江八幡市子ども子育て会議（会長）
- ・近江八幡市総合計画審議会
- ・NPO法人 ほんわかハート（近江八幡市）運営委員
- ・池田市子ども子育て会議委員（副会長）
- ・池田市保育所等設置認可等審議会
- ・摂津市いじめ問題対策委員会委員
- ・摂津市男女共同参画推進審議会委員

2022年

7. その他文筆活動

- ・中川千恵美, 中島尚美. 研究成果報告書「児童虐待予防となる親性を育む有機的な連携実践モデルの構築」. 2022年3月

10. 講義・講評

- ・中川千恵美. 子ども食堂連絡会の研修講師. 近江八幡市. 2022年3月
- ・中川千恵美. 子育て支援員研修. 「子育て家庭の現状」「子ども家庭福祉」. 大阪市. 2022年10月
- ・中川千恵美. 利用者支援専門員（子育て支援員）基本型・特定型 eラーニング研修. 大阪府. 2022年10月
- ・中川千恵美. 出産育児課子育て世代包括支援センターSV研修. 摂津市. 5月～12月

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者（含他所属）
中川千恵美	日本学術振興協会 科学研究費 助成事業 基盤研究費 C	児童虐待予防を目指す家庭養育推進ペアレンティングプログラム構築への開発的研究	2022年～ 2024年度	416万円	中島尚美（大阪公立大学） 小山顕 （関西学院聖和短期大学）
概 要（薫英研究費・無）					
<p>本研究は3年間の研究期間を通して、児童虐待発生予防を着実に進めるために、多職種連携を踏まえ、地域社会に多様なニーズを抱えた子どもと家庭が生活していることを視野に入れ、家庭養育を推進するペアレンティングプログラム開発を目指す。</p> <p>まず点在しているこれまでのプログラムの現状を調査検討し、子どもと家庭のニーズやリスク段階に応じた家庭養育を推進するペアレンティングプログラムの開発研究を実施することである。</p>					

14. その他

- ・東大阪市児童福祉専門分科会会長
- ・東大阪市子ども子育て会議委員（副会長）
- ・近江八幡市子ども子育て会議会長
- ・NPO法人 ほんわかハート（近江八幡市）運営委員
- ・池田市子ども子育て会議委員
- ・摂津市いじめ問題対策委員会委員
- ・摂津市男女共同参画推進審議会委員
- ・茨木市児童福祉審議会 会長
- ・東大阪市児童相談所設置準備検討部会部会長
- ・大阪市地域子育て支援拠点選定委員

2021年

7. その他の文筆活動

- ・中川千恵美. NPO法人ティピーによる「民間団体における切れ目ない子育て支援モデル事業」への評価特定非営利活動法人 高槻子育て支援ネットワークティピー. 公益財団法人 Imore Baby応援団 助成

事業実施報告書. 2021年3月

9. 学会発表

- ・中川千恵美, 中島尚美. 地域における家庭養育を促進する妊娠期からの有機的な連携について. 日本子ども虐待防止学会 (Jaspcan) 第27回学術集会 かながわ大会. 公募シンポジウム企画代表かつ企画趣旨及び研究まとめ等報告. 神奈川県. 2021年12月

10. 講義・講演

- ・中川千恵美. 子育て支援員研修. 「子育て家庭の現状」「子ども家庭福祉」. 大阪市. 2021年9月
- ・中川千恵美. 利用者支援専門員 (子育て支援員) 基本型・特定型 eラーニング研修. 大阪府. 2021年10月
- ・中川千恵美. 出産育児課子育て世代包括支援センターSV研修. 摂津市. 6月～9月, 11～12月

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
中川千恵美	日本学術研究振興会 (科学研究) 基盤C	児童虐待発生予防となる親性を育む有機的な連携実践モデルの構築	2017年度から開始 2021年度終了	約148万	中島尚美 (大阪市立大学)
概要					
本研究題目での5年目であるが、前回の科研研究助成研究の継続研究として位置づけた内容である。本年は、夏休み等時に緊急事態宣言の発出もあり、コロナ感染拡大防止で当初予定していた先進現場への訪問も中止せざる負えなくなった。 今年度は、健全育成系と社会養護の枠組みにとらわれず、地域社会には多様なニーズを抱えた子どもと家庭が生活していることを視野に入れ、検討を進めた。具体的には、地域子育て支援拠点事業での父親を対象としたプログラムのしかけとその展開、子育て世代包括支援センターにおけるマネジメント機能からの展開、さらに地域の子ども達を妊娠期から育む機能を有する複合施設の存在とその支援の展開から、利用者家庭のニーズを踏まえた妊娠期からの地域における家庭養育を推進する連携体制を検討した。その成果を日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会での企画代表として、公募シンポジウムを企画し、学会で採択され、実施した。さらに、児童虐待発生予防につながる、連携についての機能的な「つながり」についての型を抽出することに着眼する。さらに親性準備性についても視野に入れた連携を促進している先進的実践現場での事例検討研究会を開催し、検討を深めていく。 最終年として、この間の小さな研究成果ではあるが、報告書作成を進める。					

14. その他 社会活動

- ・東大阪市児童福祉専門分科会会長
- ・東大阪市子ども子育て会議委員 (副会長)
- ・近江八幡市子ども子育て会議会長
- ・NPO法人 ほんわかハート (近江八幡市) 運営委員
- ・池田市子ども子育て会議委員
- ・摂津市いじめ問題対策委員会委員
- ・摂津市男女共同参画推進審議会委員
- ・茨木市児童福祉審議会会長